

## 平成 30 年度 第 1 回全国健康保険協会長崎支部評議会議事録

< 開催日時 > 平成 30 年 7 月 19 日 (木) 15:30~17:10

< 開催場所 > ホテルセントヒル長崎 絹笠の間

< 出席評議員 > 7 名

岡村評議員、小出評議員、佐竹評議員、立石評議員 (議長)

中牟田評議員、吉田評議員、渡部評議員 (五十音順)

< 議 事 >

### 議題 1 平成 29 年度 全国健康保険協会の決算について

資料 1 および参考資料 1 に基づき、事務局より説明。

—主な質問・意見—

#### 事業主代表

平成 24 年度以降、平均保険料率は 10% に据え置かれ、積み上がった準備金残高は 3.1 か月分にも相当する。年度ごとでこまめに保険料率を調整していく必要があるのではないか。

⇒ (事務局)

貴重なご意見として承り、秋以降の評議会でも平成 31 年度平均保険料率の決定に向けてご議論いただきたい。また、平均保険料率を 10% に維持した場合も単年度収支は赤字に転換する見込みであることから、今後も加入者の健康度向上やジェネリック医薬品の使用促進、地域医療提供体制への意見発信に努めていきたい。

#### 学識経験者

平成 29 年度の医療給付費が前年度比で 2,251 億円も増加している要因は何か。また、加入者 1 人当たり医療給付費の伸び率が 1.9% 増加した要因は何か。

⇒ (事務局)

近年の医療給付費の伸びは、加入者数の増加が主な要因である。また、1 人当たり医療給付費は高齢化と医療の高度化により伸び続けているが、平成 28 年度は診療報酬のマイナス改定等の影響を受け、伸びが抑制されていた。

#### 学識経験者

被保険者数の伸び率と、加入者数の伸び率が一致しない理由は何か。

⇒ (事務局)

日本年金機構の適用促進やパートタイマーの適用が拡大されたことで、被保険者数は協会発足以降最大の伸びとなり、扶養率が減少したことが要因である。また、被保険者数の著しい伸びについては、今後長くは続かないと考えている。

#### 被保険者代表

平成 29 年度決算が黒字であったとしても、協会の赤字構造は変わらず、高齢化の進展に伴う拠出金の増加も見込まれる。協会の財政が今後さらに厳しい局面を迎えることを、広くお知

機密性 1

らせしていく必要がある。

## 議題 2 第 2 期保健事業計画（データヘルス計画）について

資料 2 に基づき、事務局より説明。

—主な質問・意見—

被保険者代表

説明の中で、長崎県は医療資源に非常に恵まれているとあったが、県内でも医療提供体制には大きな地域格差があり、表現には注意すべき。また、改善目標を比率で示しているが、実数での目標値も盛り込むことでより具体的なイメージを掴みやすいのではないか。

⇒（事務局）

35 歳以上の被保険者の虚血性心疾患発症率を平成 28 年度 0.06% から 0.05% に改善させるということは、働き盛りで突然死する人を 15 名減らすということ。15 名が少なく感じるかもしれないが、血圧、肥満、たばこといった危険因子は共通しているため、虚血性心疾患の発症を予防することで脳卒中や腎不全の発症も減少させられるといった波及効果もある。

被保険者代表

業種別では「その他運輸業」が虚血性心疾患の発症率が高いとのことだが、「その他運輸業」とは具体的にどういった職種のことを指すのか。また、今後どのようなアプローチを考えているか。

⇒（事務局）

「その他運輸業」は、タクシー業が主になるが、今後さらに分析を行い、分析結果に沿った対策を進めていく予定である。

被保険者代表

「空腹時血糖が高い方」の割合が増加している要因は何か。糖尿病は自覚症状がみられないことから発見が遅れることもあるため、対策に力を入れてほしい。

⇒（事務局）

特定の要因は明らかにはなっていないが、問診票のデータより、「20 歳から 10 キロ以上体重が増加した」割合が高いことや「30 分以上の運動習慣」の割合が低いことも要因として考えられる。重症化予防対策として、特定保健指導の実施と受診勧奨を徹底して取り組んでいきたい。

被保険者代表

財政状況が厳しいのは、他の保険者も同じである。データヘルス計画の達成に向けては、行政も含めたすべての保険者と連携しながら危機感を持って取り組むべきである。

被保険者代表

ビッグデータを活用した分析については、長崎大学とタイアップすることも検討してはどうか。

機密性 1

**被保険者代表**

職場における喫煙対策の強化が、目標達成に向けた重要な取り組みになるのではないか。

⇒ (事務局)

第2期データヘルス計画では、10年後を見据え、レセプトデータと健診データを有効に活用し効率的・効果的な計画を立案し着実に実施していく。PDCAサイクルをまわし、様々なご意見や助言をいただきながら進めていきたい。

### **議題3 平成29年度 長崎支部事業報告について**

資料3に基づき、事務局より説明。

—主な質問・意見—

**学識経験者**

レセプトの審査にAIは導入しないのか。

⇒ (事務局)

一次審査を行う支払基金でAIの導入はすでに検討されている。現状、協会での導入は検討しておらず、支払基金の動向を見極めていきたいと考えている。

### **議題4 その他**

2月14日に開催した九州ブロック評議会の報告と、11月の評議員の改選について連絡。

( 以上 )